

濟生会山口総合病院
 外来医師担当表

平成29年 8 月 1 日現在

診療科名		月	火	水	木	金
内 科 083-901-6102 ※呼吸器内科、 神経内科、 完全紹介予約制	循環器		小 野 史 朗 (循環器内科)		小 野 史 朗 (循環器内科)	國 近 英 樹 (循環器内科)
		塩 見 浩太郎 (循環器内科)	國 近 英 樹 (循環器内科)		塩 見 浩太郎 (循環器内科)	
		金 本 将 司 (循環器内科)	赤 川 英 三 (循環器内科)		赤 川 英 三 (循環器内科)	金 本 将 司 (循環器内科)
	腎 臓	安 藤 亮太郎 (腎臓内科)	今 井 剛 剛 (腎臓内科)	白 上 巧 作 (腎臓内科)	今 井 剛 剛 (腎臓内科)	白 上 巧 作 (腎臓内科)
	糖尿病・ 血 液	藤 田 直 紀 (糖尿病・血液内科)	村 木 和 彦 (糖尿病・血液内科)		村 木 和 彦 (糖尿病・血液内科)	藤 田 直 紀 (糖尿病・血液内科)
	消化器	原 田 稔 也 (消化器内科)	石 垣 賀 子 (消化器内科・胆膵)	花 田 浩 浩 (肝臓内科)	* 輪 番 制	白 石 龍 (消化器内科)
	呼吸器	* 非 常 勤 医 師 (午前 9 時 3 0 分～)	* 非 常 勤 医 師 (午後 2 時～)	* 非 常 勤 医 師 (午後 2 時～)	* 非 常 勤 医 師 (午前 9 時～午後 0 時)	* 非 常 勤 医 師 (午後 2 時～)
【専門外来】 ○神経内科 毎週水曜日 *古賀 道明医師の診察となります。 * 輪番制…4名の消化器医師が交替で診療を行います。						
外 科 083-901-6107	1 診	小 林 俊 郎 (心臓血管外科)	高 橋 剛 剛 (消化器・乳腺外科)	郷 良 秀 典 (心臓血管・呼吸器外科)	神 保 充 孝 (呼吸器外科)	高 橋 剛 剛 (消化器・乳腺外科)
	2 診	斎 藤 聰 (血管外科)		佐 藤 正 史 (心臓血管・呼吸器外科)		
	【専門外来】 ○乳 腺 外 来 午後 0 時～午後 1 時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後 2 時～午後 3 時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前 8 時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤 聰 医師の診察となります。					
泌 尿 器 科 083-901-6120	1 診	城 甲 啓 治	大 場 一 生	伊 藤 英 昭	大 場 一 生	伊 藤 英 昭
耳 鼻 咽 喉 科 083-901-6124	1 診	竹 野 研 二	* 非 常 勤 医 師	竹 野 研 二	竹 野 研 二	竹 野 研 二
○竹野医師 午前 9 時～ 診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始 非常勤医師による診察となります。						
脳神経外科 083-901-6109	1 診	湧 田 幸 雄	北 原 哲 博	※ 完 全 予 約 制 湧 田 幸 雄		北 原 哲 博
	2 診	* 非 常 勤 医 師				
	○北原医師 【受付時間】午前 8 時30分～10時 ○2 診 機能神経外科 第 1 月曜日 完全予約制 非常勤医師による診察となります。					
整 形 外 科 083-901-6108 ※完全紹介制	初診	大 中 博 司 (脊椎・外傷)	三 原 修 三 (肩関節・外傷)	井 上 裕 文 (脊椎・外傷)	※完全紹介予約制 岸 本 哲 朗 (脊椎・人工関節)	大 野 晃 靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸 本 哲 朗	大 野 晃 靖	大 中 博 司 (脊椎・外傷)	井 上 裕 文	三 原 修 三
	○大中医師 水曜日は午前のみ					
産 婦 人 科 083-901-6122	1 診	古 谷 信 三	* 非 常 勤 医 師	古 谷 信 三	古 谷 信 三	古 谷 信 三
○木曜日は手術日のため午前のための診察となります。						
眼 科 083-901-6123 ※完全紹介予約制	1 診	休 診	* 非 常 勤 医 師	休 診	* 非 常 勤 医 師	休 診
皮 膚 科 083-901-6110 ※完全紹介制	1 診	休 診	休 診	* 非 常 勤 医 師	休 診	休 診
	○毎週水曜日 午前 9 時～午前11時 非常勤医師の診察となります。					
小 児 科 083-901-6106	1 診	* 非 常 勤 医 師	休 診	休 診	休 診	休 診

医療機関の先生方へ
 * 印は非常勤医師

放 射 線 科	放射線科の診療は完全予約制となっております。CT・MR・RIは直接ご予約できます。CT予約 083-901-6149 予約受付MR予約 083-901-6151 〔月曜日～金曜日 午前 8 時30分～午後 6 時〕RI予約 083-901-6154 〔※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。〕
栄 養 科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。予約受付（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時） TEL 083-901-6177

地 域 連 携 室	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。 予約受付（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時） TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357 E-mail:renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子
-----------	--

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

- 各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時 診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり) 急患の場合はこの限りではありません。
- 都合により代診・休診とさせていただく場合がありますのでご了承ください。

Life

No.107

済生会山口総合病院広報誌

平成29年8月10日発行

済生会山口総合病院
〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表)
FAX083-921-0714

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

ライフ
No.107

地域医療支援病院/日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 済生会支部
 山口県済生会山口総合病院
 発行：地域連携委員会 広報チーム
 発行責任者：院長 城 甲 啓 治
 〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2017年 8 月号

認定看護師紹介シリーズ (No.4)

救急部副師長 藤本美智代
 救急部看護師 (日本DMAT隊員) 桂 真佐美

救急看護認定看護師

Certified Nurse in Emergency Nursing

救急看護認定看護師は、事故や急病、災害など、救命救急の現場で医療活動と患者と家族のこころのケアに取り組む看護師です。（日本救急看護学会より抜粋）

当院は、平成19年度より山口消防と協働し、医師・看護師同乗システム（以下ドクターカーとする）の運用を行い、1分でも1秒でも早く、医師の治療が開始できるような活動を行っています。病院収容前から患者さんやご家族に関わることで、病状の安定化や突然の状態変化に対する不安の軽減ができるよう、寄り添いながら看護を提供していきたいと考えています。

患者さんやご家族は突然の状態変化に戸惑い、不安を抱えた状況で救急外来を受診されます。そういった患者さんやご家族への不安に寄り添い、迅速に安心で安全な看護が提供できるような活動実践を行っています。そのためには、救急医療に関する知識や技術（フィジカルアセスメント能力や、トリアージ能力、アセスメント能力）が必須となります。また、患者さんやご家族に対する心のケア、救急医療チームが円滑に機能するように調整すること、救急医



療物品を整えること、一般の人たちに対する救命・救急処置の指導、後輩育成、救急看護に関する研究など、多岐に渡り活動を行っています。

「救急看護」は、突然の傷病によって状態変化を起こした患者さんやご家族に対して、寄り添い、安心で安全な救急医療を提供していかなければなりません。そのために、私たち2名の救急看護認定看護師は、現場において患者さんや家族に寄り添いながら、救急医療にかかわるスタッフと協働し、医療の提供を行っていきたくて考えております。そのため、共に働くスタッフと一緒に考え、悩み、支え合いながらこれからも頑張っていきたいと思います。

理 念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること

医療費に関する
ご相談をお受けしています

当院では、社会福祉法にもとづき、生計困難者に対して、無料または低額の費用で適切な医療を受けていただけるよう支援を行っています。

相談 窓口 医療社会事業室
TEL 083-901-6268(直通)

70歳以上の皆さまへ

平成29年8月から、

高額療養費の 上限額が変わります



全ての方が安心して医療を受けられる
社会を維持するために、高齢者と若者の間
での世代間の公平が図られるよう、負担能力に
応じたご負担をいただく必要があります。

そのため、平成29年8月から、**70歳以上
の皆さまの高額療養費の上限額が変わり
ます。**皆さまのご理解をお願いいたします。

高額療養費制度とは、

ひと月に支払った医療費が高
額になり、決められた上限額を
超えた場合に、上限額を超えて
お支払いいただいた分を払い戻
す制度です。上限額は、個人も
しくは世帯の所得に応じて決
まっています。

平成29年8月から、70歳以上の方の上限額が下表のように変わります。

70歳以上の方の上限額（月ごと）

どの適用区分に該当するかは、

被保険者証、高齢受給者証または限度額認定証でご確認いただけます。

適用区分		外来（個人ごと）	外来＋入院（世帯ごと）
現役並み	課税所得 145万円以上の方	57,600円	80,100円 ＋（医療費－267,000円）×1％ 〈多数回 44,400円〉
	課税所得 145万円未満の方	14,000円 年間上限 14万4,000円	57,600円 〈多数回 44,400円〉
住民税非課税	Ⅱ 住民税非課税世帯		24,600円
	Ⅰ 住民税非課税世帯 （年金収入80万円以下など）	8,000円	15,000円

ビタミン リコピン ミネラル

栄養科より

夏に負けないレシビ トマトとなすのスタミナ炒め



トマトの赤い色にはリコピンという色素が豊富に含まれて
います。このリコピンには抗酸化作用があり、老化防止やがん
予防に効果的と言われています。

また、トマトは生で食べるより加熱した方がリコピンの吸
収が良いとされています。ビタミン、ミネラルもたっぷりの
栄養豊富なトマトをしっかり食べて、夏バテ知らずになりま
しょう。

材料（2人分）

- ・合いびき肉 ……100g
- ・トマト ……中1個（約200g）
- ・なす ……中1/2本（約100g）
- ・ピーマン ……1個（約50g）
- ・ねぎ ……少々
- ・サラダ油 ……小さじ1（4g）
- ・豆板醤 ……小さじ1/3（2g）
- ・しょうゆ ……小さじ2（12g）
- ・砂糖 ……小さじ2（6g）

作り方

- ①トマトは8つのくし形に切る。
なすは長さを半分にし、縦6つに切る。
ピーマンは粗みじんにする。
- ②ねぎはせん切りにし水にさらし、水気をきり白髪ねぎにする。
- ③豆板醤、しょうゆ、砂糖を合わせておく。
- ④フライパンにサラダ油を熱し、ひき肉を炒める。
- ⑤なすを加え、火が通ってきたら、ピーマン、トマトの順に加え
炒め合わせ調味する。
- ⑥器に盛りつけ、
白髪ねぎをのせる。

栄養成分（1人分）

- ・エネルギー ……150kcal
- ・蛋白質 ……12.7g
- ・塩分 ……1g

まめ知識 トマトの選び方



トマトは真っ赤に熟し
ているものほど栄養価
が高く、全体の色が
均一でツヤとハリがあり、ヘタの
緑色が濃くピンとしている、すっ
しりと重いものを選びましょう。



委員会紹介

じょくそういいんかい

褥瘡委員会

褥瘡対策委員会では、入院された方々に褥瘡ができないよ
う、またできてしまった場合でも速やかに治るように活動
しています。委員会は、医師・看護師・事務部門で構成さ
れ、NST（栄養サポートチーム）・SMT（セーフティ
マネジメントチーム）とも連携しながら、それぞれの専
門分野から褥瘡に取り組んでいます。活動内容は、各部署
での褥瘡発生・有病数の調査、褥瘡対策診療計画書の作成
と定期的な評価、体圧分散マットレスの使用状況と管理、
褥瘡回診への参加などを計画的に行っています。これらの活動の成果は、褥瘡発生率減少という
形で表れています。そして、スキンケアのみならず、様々な専門職種との連携と全身的なケアに
よって「褥瘡ゼロ」を目指し、さらなる活動を行っていきたいと考えています。



敷地内全面禁煙のお知らせ

平成27年8月1日より、喫煙・受動喫煙による健康被害を防ぐために病院
敷地内全面禁煙（建物内・駐車場及び車内を含む）を実施しております。皆
様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。